

2021 年度実施概要

学校名

浜中町立散布小学校

採択活動名

「散布学（海洋編）」～散布を誇れる子どもの育成を目指して～

実施単元

単元名	学年	教科
1. 「きせつとなかよし はる なつ」	第 1・2 学年	生活科
2. 「きせつとなかよし あき」	第 1・2 学年	生活科
3. 「めざせ 生きものはかせ」	第 1・2 学年	生活科
4. 「海辺の生き物」	第 1・2 学年	図画工作科
5. 「海辺のゴミについて考えよう！」	第 3・4 学年	散布学（海洋編）
6. 「散布の海の仕事を調べよう」	第 3・4 学年	散布学（海洋編）
7. 「歩くスキーで冬の湿原散策」	第 3・4 学年	散布学（海洋編）
8. 「海の仕事」	第 3・4 学年	図画工作科
9. 「リーフレットで知らせよう」	第 4 学年	国語科
10. 「あさり島活動」	第 5・6 学年	散布学（海洋編）
11. 「散布の海の豊かさを守ろう」	第 5・6 学年	散布学（海洋編）
12. 「意見文を書こう」	第 5 学年	国語科
13. 「提案文を書こう」	第 5 学年	国語科
14. 「わたしたちのくらしと国土」	第 5 学年	社会科
15. 「戦争から平和へ」	第 6 学年	社会科
16. 「あさり島活動」	第 5・6 学年	図画工作科

取り組みの概要

1 目的

地球規模に視野を広げて、地域の海や水産資源と環境の結び付きに関する学習を展開することにより、将来、地域の発展に貢献できる人材に必要な資質・能力の育成を図る。

2 取組の概要

○ 特別の教育課程の編成

- ・第 1・2 学年：生活科、図画工作科等において、海洋教育に関する地域学習を実施し、第 3 学年の総合的な学習の時間との繋がりを明確にした教育課程を編成した。
- ・第 3～6 学年：散布学（海洋編）、国語科、社会科、図画工作科等で海洋教育に関する地域学習を実施した。複式学級という学校の特性を踏まえ、散布学（海洋編）の成果を次年度の取組に繋げるため、これまでの取組を総合的な学習の時間を中心に実践できるよう、教育課程を編成した。

○ 公開研究会・授業研究会の実施

- ・令和 4 年 1 月 27 日（木）に公開・授業研究会を開催した（参加者 34 名）。

○ 保護者・地域住民を対象とした報告会の開催

- ・令和 3 年 12 月 4 日（土）に「地域大感謝祭」を開催し、保護者を対象に実践発表会を実施した。

○ 外部機関と連携した取組

- 令和3年5月13日（木）、14日（金）に散布漁業協同組合及び釧路地区水産技術普及指導所と連携し、あさり掘り、稚貝撒き体験を行い、育てる漁業について学習した。
- 令和3年6月24日（木）に霧多布湿原センターと連携し、地域の海岸にいる生き物を調査するとともに、海岸のゴミ拾いを行い、環境を守るために自分たちができることについて学習した。
- 令和3年8月20日（金）にGrateful Farm松岡牧場と連携し、チーズづくり体験や乳牛への餌やり体験、施設見学等を行い、海岸部と内陸の産業の違いや酪農業に携わる人の思いについて学習した。
- 令和3年10月27日（水）にNPO法人シマフクロウ・エイドと連携し、火散布沼奥の道有林に設置された植樹場所で広葉樹の苗木植え作業と周辺の沢の散策を行い、森と海のつながりについて学習した。
- 令和3年11月10日（水）に羅臼町立羅臼小学校と羅臼町立春松小学校と海洋教育実践交流会を行い、各校の実践について交流し、自分たちが地域のためにできることについて学習した。
- 令和3年11月17日（水）に浜中町ウニ種苗センターと連携し、施設見学を行い、漁業に携わる人の思いについて学習した。
- 令和3年12月2日（木）に北海道大学北方生物園フィールド科学センター厚岸臨海実験所と連携し、これまでの海洋学習で生まれた様々な疑問を解決するために、専門家による講話を実施した。
- 令和4年1月28日（金）に霧多布湿原センターと連携し、歩くスキーで冬の湿原散策を行い、海と山のつながりについて学習した。

活動中の写真



第1・2学年「藻散布海岸散策」
(R3.6.24 藻散布海岸で海の生き物探し)



第1・2学年「海の子作品展」絵画
(マリンバンク主催)



第3・4学年「漁業について調べよう！」
(R3.11.17 月ウニ種苗センター見学)



第3・4学年「歩くスキーで冬の湿原散策」
(R4.1.28 霧多布湿原)



第5・6学年「海洋教育実践交流会」
(R3.11.10 羅臼小学校にて)



第5・6学年「散布の海の豊かさを守ろう」
(R3.12.2 専門家による講話)